



第2回沖縄県国家戦略特別区域会議 沖縄県提出資料



平成27年6月10日



沖 縄 県

沖縄観光の現状

○平成26年度の入域観光客数は、対前年度比9.0%増の過去最高となる717万人を記録

○特に、外国客の増加は著しく、対前年度比57.2%増の過去最高となる99万人を記録

平成27年度の目標

入域観光客数760万人(+6.0%)

・国内客640万人(+3.6%)

・外国客120万人(+21.2%)

沖縄観光の課題及び目標

誘客戦略の展開

- 市場特性に応じた誘客PRの実施
- 着陸料等軽減措置の継続

観光人材の育成・確保

- 観光専門教育機関との連携、誘致
- 観光マネジメント人材の育成
- 文化、スポーツ分野コンテンツ人材の育成等

受入体制の強化

- 空港・港湾等ゲートウェイ機能強化
- 2次交通機能の拡充
- 宿泊・観光施設等の拡充

国家戦略特区の活用

- 国家戦略道路占用事業
- 国家戦略特別区域限定保育士事業

【平成33年度の目標値】

課題克服による目標達成

入域観光客数 1,000 万人
(国内 800 万人、外国 200 万人)
観光収入1兆円

国家戦略道路占用事業

(1) 旭橋都市再開発株式会社

- モノレール旭橋駅周辺地域内において、多言語観光案内板やバス乗降スペースに庇を設置し、観光客の利便性を向上

<旭橋駅周辺地域>

- 新たな交通機能拠点の形成
- 現在、市街地再開発事業が順調に進捗中

(2) 那覇市国際通り商店街振興組合連合会

- トランジットモール時の国際通りにおいて、イベントブース等を設置し、通りの賑わいを創出

<国際通り>

- 沖縄を代表する商店街
- 毎年、国内・海外から多くの観光客が訪問

観光客の利便性向上、通りの賑わい創出
→ 国際観光拠点の形成に寄与

国家戦略特別区域限定保育士事業

地域限定保育士試験の実施
(10月24日・25日予定)

地域限定保育士の創出

合格後3年間は
沖縄で活躍

育児環境
の向上

保育士不足
の解消
↓
待機児童
の解消

県内雇用環境の向上

認可保育所等

観光客受入体制・高度人材育成体制の基盤強化

引き続き検討を行う規制改革事項

外国人旅行者向け 消費税免税制度の拡充

創業人材等の外国人材の受入れ推進

OIST等の研究成果を活用したベンチャー創出推進

ビザ要件の緩和等

入管手続の迅速化

外国人を含めたレジャーダイバーガイドの拡充

着地型旅行商品の販売等に関する規制緩和

規制緩和の拡充推進

(参考) 国際観光拠点形成に向けた沖縄県の取り組み

- 沖縄観光推進ロードマップ施策展開
- 沖縄県観光危機管理実行計画の策定
- 第6回世界のウチナーンチュ大会開催
- 2万人収容MICE施設の整備
- 沖縄空手会館の整備 等

